



卒業式の服装を考える

小学校の卒業式は、巣立っていく子供たちを見送る、小学校が最も大事にしている学校行事です。近年、卒業式の衣装について、近隣の小学校の校長先生たちの間でも話題になっています。制服がある学校は、蚊帳の外になるのですが、私服の学校の中では、「袴（はかま）」についての話が最も出てきます

なぜ袴の話題が出てくるのかというと、袴にはいくつかの課題があるからです。その課題に関する意見ついて一緒に考えていただけるとありがたいです。



① 教育的意義の点から

卒業式は、あくまでも学習の一環です。学校では、運動会は体育服、遠足は動きやすい服装など、行事ごとに、その行事にふさわしい服装を着ることを求めています。学校教育において、卒業式は「儀式的行事」に分類されており、始業式や終業式と同じ行事の一つですが、始業式や終業式・修了式で袴を着用する子供はいません。

② 体調の点から

袴は、洋服よりも締め付けが強いため、子供が体調を崩しやすくなります。卒業式は、緊張して体調を崩す子供がいます。私が担任していた時も、体力に自信があった子供が式中に真っ青になって、倒れたこともありました。式中の子供の健康管理は学校の大切な務めですので、そこは第一に考えるべきところだと思っています。

③ 所動作の点から

洋服を着慣れている子供にとって、着物は全く勝手が違う服装です。袴を試着して、事前に慣れておくということも一つの考えかもしれませんが、卒業式の練習は洋服だったのに、本番だけ袴で、入退場、登壇降壇、証書授与、卒業の歌等、様々な動きは、子供にとって想像以上の負担がかかります。さらに、着崩れたときやトイレに行くときに、「自分のことは自分でする」ができないのであれば、袴を着用させるのは難しいでしょう。

④ 経済的負担の点から

袴を購入するにしてもレンタルするにしても、一式揃えとなれば決して安くはない金額を支払うこととなります。子供たちは、これから小学校、中学校、高等学校、中には大学、さらに成人式とたくさんの式典を経験していきます。経済的にゆとりのないご家庭からすれば家計への影響が大きく、経済的格差が如実に現れてしまうのが現状です。お家にある、洋服や中学校の制服のスラックス等でも十分だと思っています。

昨年度の卒業式で、袴着用を考えておられて、洋服に変更されたご家庭は、卒業の記念に袴姿の写真を残そうと、フォトスタジオを利用して卒業式の記念写真を前撮りされました。そういう方法もあるのかと新たな気付きとなりました。

最終的には各ご家庭の判断になりますが、上記の課題をご家庭で十分話し合われた上で、決断をお願いします。学校では、子供たちの服装に関係なく、子供たちには帯西で育った自信と誇りを胸に、一人一人が主役となって卒業してもらえるように全職員で力を合わせていこうと思います。